
黒翼の天使

御門はるま

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

黒翼の天使

【Nコード】

N4282Z

【作者名】

御門はるま

【あらすじ】

ある日、あたしの目の前に自称”天使”が現れて……

ショートショートです。

お気軽にご一読ください

(前書き)

s h o r t s h o r t s t o r y

を短くお話しします。

「俺は天使だ！ お前の願いを一つ叶えてやる」

愛犬のペギーが死んだある冬の日。あたしの目の前に現れたのは、黒い翼を持った自称天使だった。紫色の、まるでゴムボールの丸い形。そのボールの表面には取って付けたようなまん丸の黒い目と、パツクマンのような口があった。手のひらサイズで手足はない。あるのはやたらと立派な黒い翼だけ。黒翼をパタパタとやるその様は、まるでギャグ漫画の中の悪魔そのものだった。

「さあ言ってみろ！ お前の願いは何だ！」

パツクマンの口をパカパカとやり、彼はあたしの目の前で顔に似合わずドスのきいた声を上げた。でも、やっぱりゴムボールなので笑うしかない。

「何がおかしい！ 早く願いを言え！」

なかなか願いを言わないあたしに業を煮やした自称天使、しまいにはあたしの部屋中の物をヒョイヒョイと飛ばし始めた。目の前を横切るテディベア、鉛筆、参考書達。一応その力は本物らしい。すっかり感心しているあたしを見て意地になったか、その日以来、彼はあたしの部屋に住み着いて、しきりに「願いを言ええー」を繰り返している。

そんなある日。

「ああああー！」

すっかりあたしの部屋の一部と化していた自称天使、突然悲鳴にも近い絶叫を上げた。すっかり彼の定位置と化した本棚の三段目に目をやると、あら不思議。紫ボールはピンクボールに大変身。おまけに自慢の黒翼はなんと綺麗な白翼に早変わり。

「畜生畜生！ お前の願いつて何だよ一体！ せつかくお前を陥れて大悪魔になろうと思ってたのに！ 悪魔はなあ、人間の願いを叶えちゃうと天使に変わっちゃうんだよお！ お前、何願ってたん

だよおお！

「可愛いペットが欲しい……」

(後書き)

生まれて初めて書いたお気に入りのショートショートです。
自分もこんなペットがほしいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4282z/>

黒翼の天使

2011年12月14日23時01分発行